

# 江教組ニュース

2016  
No. 6

都教組江戸川支部

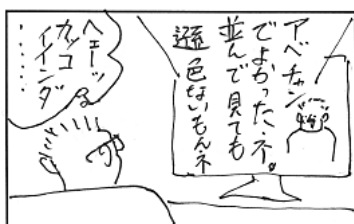
TEL 3651-3153

FAX 3655-3521

市民連合の「野党は共闘！」の声が野党を動かし、1人区はすべて統一候補の擁立に成功しました。2000万署名はその大きな力になりました。参院選、7/10投票日まであと3週間。目標は与党とその補完勢力の2/3議席を阻止し、「改憲」発議ストップと戦争法廃止の足がかりをつくることです。今度は選挙で野党を後押しし、目標を達成しましょう!!



かみはさむ!! ケイイチロウ



## 「集団的自衛権」が新たな危機を招きそうだ!

安倍総理の訪米直前、星条旗新聞が掲載したコメントはこうだ。『安倍はホワイトハウスに暖かく迎えられて、こう告げられるだろう。無人

の岩のためにアメリカを戦争に巻き込むのはやめてくれ』。これが米軍の本音だ。が『バイデン米副大統領は、米公共テレビ(PBS)のインタビューで、中国の習近平国家主席に対して日本の核兵器保有の可能性に言及し、北朝鮮の核・ミサイル開発に米中で対応すべきだと促したと明らかにした。米国は核拡散に反対だと明言しつつ「日本は事実上、一夜で核兵器を製造する能力がある」と語ったという。時事通信26日』となった。日本をアメリカの砦にするつもりか。アベさんの望み通り?

## 軍事同盟というのは“血の同盟”!?

「(安全保障関連法を) 廃止すれば日米の信頼の絆が断ち切れ、日米同盟は根底から覆される」安倍総理と山口代表が選挙カーの上で絶叫している場面をよく見ます。しかし、立憲主義に反すると言われて、かつ強引に成立させた経過を見れば明らかに“すり替え”です。

「いまの日本の自衛隊に対してですね、血を流せよ、そこまではつきりとおっしゃってしまえば、アミテージュ元国務副長官は要するに、インタビュに答えて、ガイドラインの見直しを含む安倍総理の、安倍首相の訪米にはどんな意味があるのか考えますかということについて、何て書いてあるかというところ、日本周辺でアメリカ人を守るため自衛隊が命を賭けるという宣誓なのか」と。ここまでおっしゃっている。

「これはですね、『完全なイコールパートナー』と申すわけでは、このことについて申し上げているわけでは、決して私は自衛隊に血を流せと言っているわけではないわけでは、先程から何回かですね、私が血を流せと言っているわけでは、どこにも書いていないわけではあります。」

「この国を守る決意」ということについて、自衛隊のイラク派兵(2003〜08年)などを仕切ってきた柳沢協三元内閣官房副長官補は「ああ、これなんだ、と思った。2004年というのは私が官邸について、陸上自衛隊がイラクで活動を始めた年だ。安倍さんは本当はアメリカと肩を並べて、日本も戦闘に行きたかったのだらう」と語ります。

「これはですね、『完全なイコールパートナー』と申すわけでは、このことについて申し上げているわけでは、決して私は自衛隊に血を流せと言っているわけではないわけでは、先程から何回かですね、私が血を流せと言っているわけでは、どこにも書いていないわけではあります。」

「これはご自身の著書です。『この国を守る決意』というところに、この国を守る決意」ということについて、何て書いてあるかというところ、日本周辺でアメリカ人を守るため自衛隊が命を賭けるという宣誓なのか」と。ここまでおっしゃっている。

「これはですね、『完全なイコールパートナー』と申すわけでは、このことについて申し上げているわけでは、決して私は自衛隊に血を流せと言っているわけではないわけでは、先程から何回かですね、私が血を流せと言っているわけでは、どこにも書いていないわけではあります。」

# 「学びこそ力」江教組のもう一つのスローガンです。



## 2016年度 第2回 実践講座



### 体育の授業に使える フラッグフットボール



毎回大好評の体育実践講座が6月23日に船堀第二小の体育館で行われました。講師は大貫先生です。人気の講座で26人が参加しました。参加者で、4人のチームを4つ作り、まずはしっぽとりで体を動かしました。その後フラッグフットボールとはどういうボールゲームなのかを、段階を追いながら実際にやっています。3年生ではこのくらいまで、高学年では、というように常に集団で作戦を練りながら実際にやってきました。どのチームも様々な作戦での



今日は実際に、フラッグフットボールを体験しながら学ぶことができたため、楽しみながらの勉強となりました。思っていたよりも大人も楽しめ、集中して行うことができました。また、次回も参加したいと思います。(参加者乾燥より)



そみ 大成功の作戦もあれば、ポロリとボールが転がってしまったりチームもあつたりとお汗をかきながら迫力満点の実践講座でした。決まったルールで運動するのではなく、自分達で戦術を練りながらゲームを進めるのでサッカーやバスケットを習っている子もスタートラインは同じです。工夫の余地大いにあります。今後の実践が期待できます。

一人残らず学びに参加する授業・教室、そして学校をつくりませんか！  
それは、私たちの創意と工夫次第。一緒に研究しましょう！

## 江戸川学び合う学びの会第18回学習会

☆江戸川の小学校2年生・国語の授業の提案を受けての研修会です。

☆日時 2016年7月11日(月)午後6時30分

☆会場 船堀タワーホール402号室

☆講師 永島 孝嗣先生 (麻布教育研究所)

参加費300円をお願いします。



「学び合う」教室をつくりましょう  
ぜひ参考に  
お読みください。



17回学習会では、永島先生にお持ちいただいた小学校2年生の国語の授業を見ながら、小学校低学年の「学び」について学習、そして、協議を進めました。

一人残らず授業に参加させ続ける授業のデザインと展開。テキストにかえて思考する児童たち、それを適切に促す先生のことは、

こどもが発言するとき、ずっと、そばにいき、こども同士のことばをつなげる先生の絶妙な立ち位置。

低学年の全体で深め、ペア・グループで確認するという高学年と違うその位置づけ等々、多くを学んだ学習会になりました。

今回はそれに学んで江戸川の「同僚」が授業研究をし、発表します。

ぜひ、ご参加ください。一緒に研修しましょう。

・主催 江戸川『学び合う学び』の会 ・後援 都教組江戸川支部 連絡先 (3651) 3153